

29年度発行学習書の訂正及び変更一覧

平成29年度発行の下記の学習書につきまして、訂正・変更がありますので、生徒・先生方に周知いただきますよう、お願いいたします。

学習書	訂正・変更
『新 数学Ⅱ』	<p>学習書「新 数学Ⅱ」43ページ「例題8」の解答(1)で、数字に一部誤りがありました。直線 $y=2x+3$ の傾きは、3ではなく、2でした。お詫びして訂正いたします。</p> <p>誤 解答(1) 直線 $y=2x+3$ の傾きは 3。よって求める直線は点(1, 2)を通り、傾きが3だから、$y-2=3(x-1)$ より $y=3x-1$</p> <p>正 解答(1) 直線 $y=2x+3$ の傾きは 2。よって求める直線は点(1, 2)を通り、傾きが2だから、$y-2=2(x-1)$ より $y=2x-1$</p>
『新選 日本史 B』 2017年3月20日 第4刷の発行	<p>以下の変更があります。</p> <p>① 123頁 上から5行目「海保青陵」の読み仮名を「かいぼせいりょう」とする。</p> <p>② 163頁 一番下の行「内蒙古」の読み仮名を「ないもうこ」とする。</p>
『政治・経済』 2017年3月20日 第3刷の発行	<p>以下の変更があります。</p> <p>① 56頁 上から3行目「世論」の読み仮名に「よろん」を追加する。</p> <p>② 154頁 上から13行目「…アフリカ諸国を中心に48か国が該当する(2014年現在)。」を「2016年現在」とする。</p> <p>③ 158頁中のコラム「教科書の見方 ヨーロッパの地域統合、EUへの歩み」を以下のように変更する。</p> <p>EUは、1973年以降加盟国を増やし、現在は28か国からなる。かつてイギリスなどはEFTA(ルビ:エフタ)(欧州自由貿易連合)を組織してECに対抗していたが、経済的に強い組織にならなかったこともあり、EFTAを脱退しEUに加盟した。東西冷戦が激しい時代には、東側諸国はCOMECON(ルビ:コメコン)(経済相互援助会議・1991年解散)を組織して西側諸国に対抗していたが、冷戦が終結し、2004年にはポーランドやハンガリーなど旧COMECONメンバーの一部がEUに加盟した。こうしてEUはロシアを除くヨーロッパのほぼ全土に広がった。現在は、トルコやセルビアなどが加盟申請をしており、EUはアジアにも拡大する可能性がある。一方、「難民問題」の広がりや、2016年イギリスでEU離脱派が国民投票で勝利したことを受け、EU自体に流動的な要素も見られる。</p> <p>共通通貨ユーロは19か国で導入されているが、導入基準を満たしていない国(ポーランド、ハンガリーなど)やユーロの適用除外が認められている国(イギリス、デンマーク)の9か国は導入していない。</p> <p>④ 159頁の図タイトル「世界のおもな地域統合(2014年8月現在)」を「2016年現在」とする。</p>
『高校美術Ⅰ』 2017年3月20日 第5刷の発行	<p>以下の変更があります。</p> <p>① 18頁の「烏鷺図屏風」(左隻)を削除し、同図(右隻・部分)を掲載する。</p>